

東京外環
(関越～東名)

GAIKAN

2003年10月

外環journal

ジャーナル

第14号

〔発行所〕国土交通省関東地方整備局東京外かく環状道路調査事務所
〒158-8580 東京都世田谷区用賀4-5-16 TEビル7F TEL/FAX 03-3707-1491(外環専用ダイヤル)

<http://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan>

環境アセスメント、インターチェンジについて 区長、市長と意見を交換

第4回 沿線区市長意見交換会を開催



意見交換会には、熊本哲之世田谷区長、矢野裕江江市長、長友貴樹調布市長、清原慶子三鷹市長、土屋正忠武蔵野市長、小林義明杉並区助役(山田宏区長の代理)、志村豊志郎練馬区長が出席しました

8月22日に、第4回「東京外かく環状道路(関越道～東名高速)沿線区市長意見交換会」が開催されました。国と都は環境アセスメントやインターチェンジに関する資料を提出し、各区市長は次のような意見を表明されました。

環境アセスメント

国と都から環境アセスメント、「方法書」の公表・縦覧、「意見書」の提出方法について説明が行われ、それに対し各区市から、「公表の仕方があまりにも唐突」、「マスコミ先行型のやり方はよくない」といった意見が出されました。

インターチェンジ

インターチェンジの設置については、各区市に關係するインターチェンジについて意見が出されました。まず、世田谷区長が、現状では世田谷通りインターチェンジの設置は難しいとの意見を表明し、狛江市長から、「世田谷通りインターチェンジについて

は、世田谷区や喜多見地区など関係住民の声を踏まえて最終判断したい」との意見が出されました。次に調布市長から「20号インターチェンジについて

望するか否かについては留保する」との意見の後、三鷹市長から「ジャンクション一体型を考えている国道20号インターチェンジは三鷹市への影響が極めて大きく、深刻に考えている。東八道路インターチェンジは構造上の研究が必要である。地元住民の意見を踏まえながら検討したい」との意見が出されました。続いて杉並区助役から「青梅街道インターチェンジは反対。早くやることで大問題の発端から、そう考えればインターチェンジは要らないのでは」との意見の後、練馬区長から「目白通りインターチェンジと青梅街道インターチェンジは必須の要件である。反対する人の理解を得るよう努力する。杉並区とも話す必要がある」との意見が表明されました。

P-1外環沿線協議会

環境アセスメントの実施に対する抗議の問題で中断している沿線協議会については、再開できるように必要な努力をしてほしい、「沿線協議会で外環の是非を決める」という考えは

外環の必要性

外環の必要性、大深度地下の活用については、環状8号線の渋滞、環境改善の観点から地下化を前提として必要な道路である、「外環の有用性を理解し、賛同する」、「外環の果たす役割や必要性については認識している。大深度地下の方針については、反対するものではない」、「大深度地下の計画に反対している区市長はいないのだが、大臣と知事が責任をもつて進めていくべきなどの意見が出されました。

区市議会でも議論を

各区市長からのご意見に対して、国と都は、インターチェンジについて早期に方向性を出していきたい。そのために本日提出した資料を活用して9月議会等で議論を深めていただき、議会後再び意見交換の場を持ちたいなどの意見を表明しました。

当日配布された資料はオープンハウスやホームページでご覧いただけます。インターチェンジに関する資料は、別冊「資料特集号」で紹介しています。

「外環ジャーナル」バックナンバー

請求先 ☎ 0120-34-1491 (平日9:15~17:30)

【第1号～第13号の主な内容】

第1号 2000年2月発行 ・地元との対話実現に向け東京都と国が協力 ・「ここを知りたい...」にお答えします 第2号 2000年9月発行 ・「首都圏の社会資本整備と外環に関するアンケート調査」集計結果 ・地元の住民団体と東京都・建設省の話し合い行われる 第3号 2001年2月発行 ・国土交通相が外環計画予定地を視察 ・地元住民団体との第3回話し合い行われる 第4号 2001年4月発行 ・国土交通省・東京都より外環計画の「たたき台」を公表 ・担当者が計画の「たたき台」について説明と伺います 第5号 2001年8月発行 ・外環計画の「たたき台」について説明会と相談所開設 ・外環について、扇大臣が国会答弁・石原知事が記者会見	第6号 2002年1月発行 ・全ての意見の内容を掲載した「みなさんの声」を発行 ・東京環状道路有識者委員会が発足しました 第7号 2002年9月発行 ・P1外環協議会(仮称)準備会で基本認識、目的などを確認 ・外環沿線区市長と「意見交換会」を初めて開催 第8号 2002年4月発行 ・P1外環協議会で話し合いが始まる ・東京環状道路有識者委員会 関係者からの意見聴取始める 第9号 2002年12月発行 ・東京環状道路有識者委員会 国と東京都へ「最終提言」 ・P1外環協議会、計11回開催	第10号 2003年3月発行 ・「外環沿線地域のアンケート調査」結果 ・第2回外環沿線区市長意見交換会開かれる 第11号 2003年6月発行 ・沿線の区市町長と意見交換会(第3回) ・沿線協議会「中間とりまとめ」へ 第12号 2003年7月発行 ・P1外環協議会 一年間の議論「中間とりまとめ」 ・「中間とりまとめ(全文)」 第13号 2003年8月発行 ・環境調査についてのご意見をお寄せ下さい ・各地でオープンハウスを開催
---	--	---

ご希望の方に、東京外かく環状道路(関越道～東名高速)の広報紙「外環ジャーナル」創刊号から前号までのバックナンバーをお送りします。



オープンハウス、沿線区市で開催中

外環に関する資料・情報を提供

外環のオープンハウスが、7月9日に三鷹市、世田谷区、武蔵野市で開催されました。オープンハウスは、P-外環沿線協議会、地元の区市、東京都都市計画局、国土交通省関東地方整備局が主催するもので、これまでに1000名を上回る住民が来場、沿線協議会の協議員、行政の担当者が説明を行い、住民の疑問・相談にお応えしました。

環境については、換気塔の建設が地域の環境にどのような影響を与えるのか、騒音・振動の問題は避けることのできない地域にとつては重大問題、「野川沿いのグリーンベルトを守って欲しい」などのご意見がありました。

インターチェンジ・ジャンクションについては、世田谷通りインターチェンジ計画には反対、「中央高速とのジャンクションは、東八道路経由で乗り降りできないと地域住民には無意味」などの意見がありました。

また、計画については、今後の具体的な計画を聞きたい、「計画には全て反対」、「早くオープンハウス開催日程について、ホームページでご覧になれます。



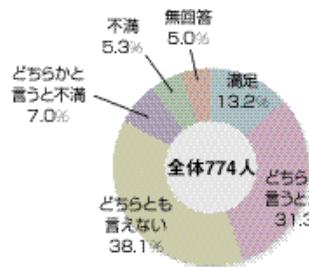
三鷹市・新川あおやぎ公園に設置されているオープンハウス

オープンハウスで行ったアンケート結果

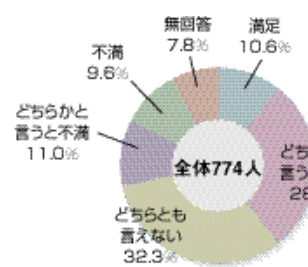
6月29日～9月21日までに調布市緑ヶ丘地域福祉センター、三鷹市新川あおやぎ公園内ハウス、世田谷区喜多見東地区会館、武蔵野市吉祥寺南町コミュニティセンターの4会場で行ったアンケート結果

外環オープンハウスについて

●「外環オープンハウス」の印象



●必要な情報は得られたか



オープンハウスの各会場で説明する協議員

935通の意見書が提出されました



国土交通省と東京都は外環について、大深度地下を活用した地下式トンネル構造を対象に、環境への影響をより

詳細に把握するための調査を始めます。調査にあたっては、計画内容が固まらない早い段階で幅広く住民の意見を聞くため、環境アセスメントの仕組みを活用しました。

環境影響評価法の規定に基づき、9月8日(月)までの意見書提出期間に、大気汚染や地下水等に関する935通の意見書が提出されました。

提出された意見書は、今後、東京都環境影響評価審議会での審議や区市長意見の作成にあたって参考とされます。知事は審議会の答申を受け、環境保全の見地から方法書に対する意見を作成します。国と都は、知事意見を踏まえて環境影響評価の項目及び調査等の手法を選定し、現地調査を実施します。

環境影響評価(アセスメント)

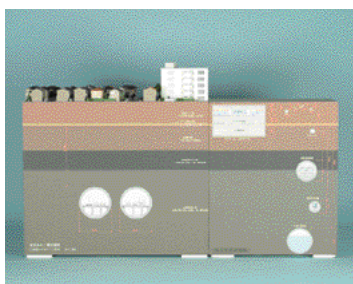
東京外かく環状道路調査事務所へお気軽にお立ち寄りください。

資料請求はフリーダイヤルへ

ご質問、ご意見をお待ちしています。

フリーダイヤル ☎0120-34-1491 (TEL&FAX)
(平日9:15~17:30)

- 住所 〒158-8580 東京都世田谷区用賀4-5-16 TEビル 7階
- TEL&FAX 03-3707-1491 (外環専用ダイヤル)
- e-mail gaikan@ktr.mlit.go.jp
- ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan>



大深度地下構造の模型



東京外かく環状道路調査事務所
東急田園都市線 用賀駅 北口 徒歩1分